

教育活動に関する調査 保護者意見・見解

①札幌で実施している不登校の生徒のための「有料相談支援パートナー」のようなものがあると良いのは。たとえば、学校以外のコミセンにそういう支援が受けられる場所が設けられていても通いやすそう。

見解 有料の相談については学校ではなく、委員会・役場の担当ですので連絡してみます。

②いじめと疑わしき事案があったとき、一人の教師だけで解決しようとするのではなく、最初の段階で複数の先生（第三者的立場の）に動いてもらいたいです。

見解 いじめにかかわる事案について組織的に対応しているが、事情確認や保護者対応等も極力複数（指導部や場合によっては管理職にも入っていただく）で行っていきたくと考えています。

③数年前に比べると、きちんとした挨拶ができる子が少なくなった気がします。人としてきちんとした挨拶ができるようになってほしいです。

③「あいさつができる」に関しては、以前のほうがよくできていた。今は、保護者が学校に行っても生徒のほうから元気にあいさつすることがないのが残念に思います。自分の勤務する中学校の生徒はどの生徒も見知らぬ大人の来校者にも教師に対しても、ものすごく良く挨拶するので、指導と意識づけで良く変われると思う。生徒会に頑張ってもらおうとよいと思います。

見解 ③イベント的な挨拶運動ではなく、日常的な挨拶ができるような指導が必要だと考えている。挨拶本来の意味を理解させながら、生徒会や部活動を中心としながら指導していきたく。

④子どもの様子については、あまり子どもたちと接する機会がないので上記がふさわしい評価といえないかもしれません（すみません）。「よくわからない」という項目もつけてくださればいいかと思います。

見解 ご指摘の通りではありますが、今後とも行事・懇談・参観日・公開ウィーク等で広く保護者のみなさまに子どもたちの活動を見ていただけるように情宣・PR・情報発信等をし、ぜひ様子を見に来て、ご意見をいただけるようにしたいです。

⑤受験情報をもっと知りたい（卒業生によるアドバイスなども聞きたい）。

見解 ⇒受験に関する情報については、学年懇談・学級懇談、教育相談・三者懇談などの機会に、様々な媒体の情報と今までの進路実績を基にお伝えしています。また、学年の実態に合わせて、伝えていく内容を工夫してお伝えしているところです。
卒業生によるアドバイスについては、個人情報との関係もあるため、一般論として3年の進路学習の際に取り扱うこともあります。
受験に関する情報について、詳しく知りたいことがありましたら、担任を通じて聞いていただければと思います。

⑥西中祭はとても良い行事なので、もっと保護者の方に来ていただけるような工夫をしたらよいと思います！（周知の仕方等... 私が在学していた時はもっと保護者が来ていたような...）

見解 1年生の④同様、PTA役員会、学級懇談会、メール等々での情宣・PRを可能な限り行っていきたくと思います。

⑦どの教科、どの学年にどんな先生がいるのかわからない部分が多いため、年度初めに顔写真（難しければ似顔絵で）と簡単なプロフィールが書かれている「職員紹介」的なおたよりがあると、とっても嬉しいですし、子どもたちと会話も弾むのではないかな...ち思います。担任だけでなく、各教科の先生のことも知りたいので、ぜひご検討よろしくをお願いします！！（今はプライバシー等の関係で難しいのかもしれませんが...）

見解 ①可能であれば行いたい。配布は保護者のみ（地域には配布しない・HPはのせない）②来年度は小中一貫の取り組みの中で、小学校と中学校の先生方の顔写真入りの組織表を作りたいとも考えていますのであわせて行いたい。（これは学校間のみ）

⑧希望として、、、小学校の教育相談と期間が重なっていると仕事の都合上大変ありがたいなと思います。ご検討お願いいたします

見 解	⇒小学校の教育相談は、学芸発表会が終わった11月中旬頃に行われていると思います。中学校ではこの時期に「学力テスト」や「後期中間テスト」を行うとともに、3年生は「進路に関する個別面談」を随時行っています。月末の三者懇談で、3年生は進路希望先を確定させていきます。日程を逆算すると、小学校と中学校の教育相談の期間を重ねることは難しいと考えます。ご理解いただければと思います。
--------	---

⑨卒業式については、保護者の席から子どもが卒業証書を受け取る姿が見えるように、座席を両側にするなどの配慮をお願いします。

見 解	⇒ご意見いただきありがとうございます。現在は証書授与の様子が見られるよう、ビデオカメラを設置し、スクリーンを通してお子さんの様子を見られるようにしています。保護者席の配置については検討したいと思います。
--------	---

⑩コーディネーターの佐久間先生が福祉の授業を行っていただいたのを学校便りで知り、ぜひ続けてほしいと思いました。以前は、小学校で、ゆうゆうさんの方を講師に招いて、授業をしていたのですが、すっかりそのような機会がなくなってしまっているんだなあ~と思っていた所だったのでとてもうれしいです。これからの社会は、働く場にどんどん障がいを持った人が沢山いて関わっていく機会が増えていくと思います。その中で、少しでも知識として持っているだけで随分と関わり、接し方が変わってくるのではないかと思います。ぜひ続けてほしい学習です。交流給食（あすなろへ給食を生徒と一緒に食べに来てくれたり、あすなろの生徒が交流学級へ行って食べたり）の行き来も子供がうれしいと言っているので多く機会を作っていただきたいです。

見 解	⇒ご意見いただきありがとうございます。上述されている授業は、道徳の授業の一つとして行われました。今後も様々な授業や取り組みを行うことで、共生社会に生きる人間として必要なことを伝えていけるよう、努めていきたいと思っています。
--------	---